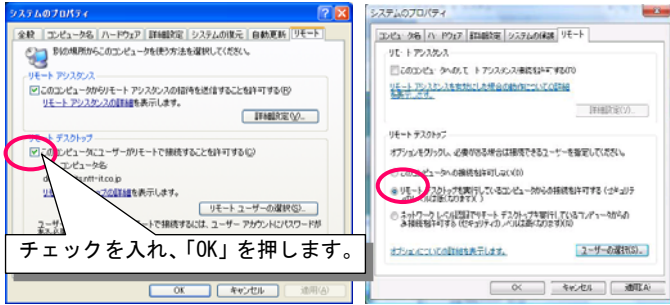


対象機器(操作される側)の設定

本クイックセットアップが対象とする操作される側の PC は Windows XP Professional、Windows Vista Ultimate/Enterprise/Business となります。Windows Server 2003 と Windows 2000 Server は USB キーに格納してある取扱説明書をご覧ください。

① リモート接続許可の初期設定

[コントロールパネル]から[システムのプロパティ]を開きます。次に、[リモート]のタブを表示し、「このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する」にチェックを入れ、「OK」を押します。

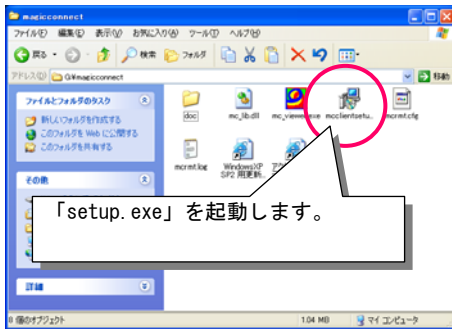


XP Professional

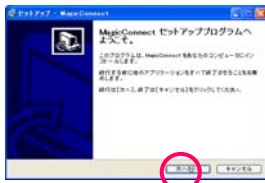
Vista Ultimate

② MagicConnect Client ソフトのインストール

PC にマジックコネクットの USB キーを挿します。次に、USB キー内の「mcclientsetup.exe」/「mcclient20_setup.exe」を起動します。

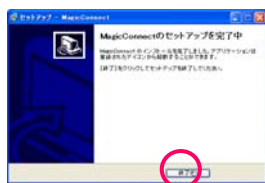


セットアッププログラムが起動しますので、「次へ」を押します。



質問が表示されますが、あらかじめ選択(登録)されているまま進めて構いません。

セットアップ完了画面が表示されたら「終了」を押し、USB キーをPC から取り外します。



USB キーは、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」から、USB キー(USB 大容量記憶装置デバイス)を選択した後、取り外してください。

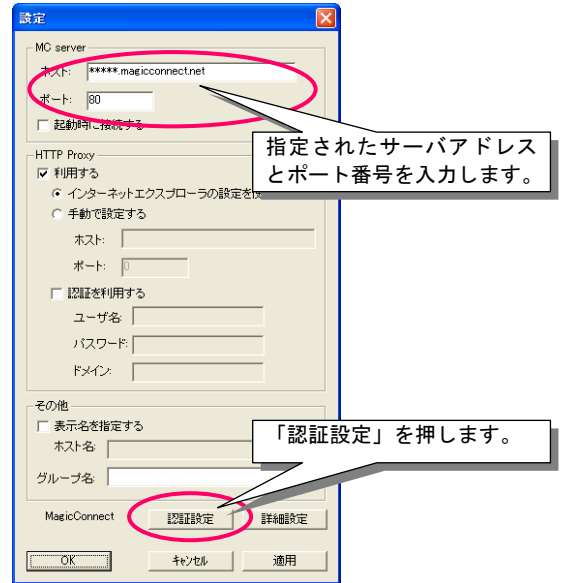
③ MagicConnect Client ソフトの初期設定と接続

[プログラム]から[MagicConnect] / [MagicConnect2.0]を選択し、起動します。OS が Windows Vista の場合は、マウスを右クリックして、「管理者として実行」を選択して起動してください。

次に、メイン画面の「設定」を押し、設定画面を表示します。



設定画面の「MC server」の「ホスト」に指定されたマジックコネクットのサーバアドレスを、「ポート」に 80 (MagicConnectの場合) / 443 (MagicConnect2.0の場合)を入力します。なお、ASPサービスをご利用の場合は設定済みとなっています。次に、「認証設定」を押します。

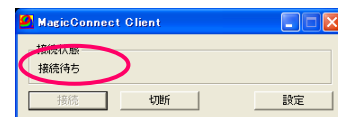


ユーザ認証画面では、指定されたマジックコネクットのユーザ名とパスワードを入力し、「パスワードを保存する」にチェックを入れ、「OK」を押します。



以上の初期設定が終了したら、上述の設定画面の「OK」を押してメイン画面に戻り、「接続」を押します。ユーザ認証画面が再度表示されますので、「OK」を押してください。

メイン画面の接続状態が「接続待ち」に変わればマジックコネクットのサーバへの接続完了です。



MagicConnect Client を、PC の電源 ON に連動させて起動させる「サービスでの起動」設定も可能です。設定方法は、USB キーに格納してある MagicConnect 取扱説明書の 2-16~21 ページを参照してください。
また、NDL(v2.7 以降)およびNDLプラスの「対象機器のWOL起動からWindowsログオン画面表示までを自動化する機能」を有効にする手順は、ホームページ (<http://www.magicconnect.net/>) のサポートの MagicConnect の各種手順「MC3000 の利用手順書(一般ユーザ用)」をご覧ください。

④ リモートデスクトップ単体でのアクセスをブロック

ホームページ (<http://www.magicconnect.net/>) のサポートの各種アプリケーションの設定手順の「2. リモートデスクトップ単体での LAN 内アクセス禁止」をご覧ください。

⑤ 待機状態の設定

[スタート]から[ログオフ]-[ユーザーの切替]を選択し、PC はパスワードを入力しないと使えない状態にします。

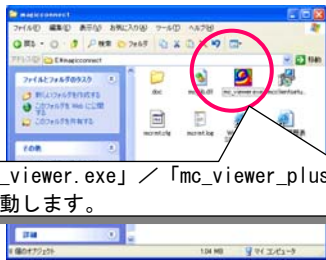


操作 PC (操作する側) の設定

操作する側の PC は、NDL の場合は Windows Me/NDL プラスの場合は Windows XP(SP2) 以降となります。

① MagicConnect Viewer の接続

手元の PC にマジックコネットの USB キーを挿します。次に、USB キー内の「mc_viewer.exe」/「mc_viewer_plus.exe」を選択して起動します。OS が Windows Vista の場合はマウスを右クリックして、「管理者として実行」を選択して起動してください。



「mc_viewer.exe」 / 「mc_viewer_plus.exe」を起動します。

接続画面(注1)が表示されたら、指定されたマジックコネットのサーバアドレス、ユーザ名、パスワードを入力(注2)して、「OK」を押します。なお、ASP サービスをご利用の場合、サーバアドレスは設定済みとなっています。

(注1)NDLプラスは、検査状態が最新の安全なPCの場合にのみ接続画面が表示されます。詳細はUSBキーに格納してあるMagicConnect取扱説明書の3-2ページを参照してください。

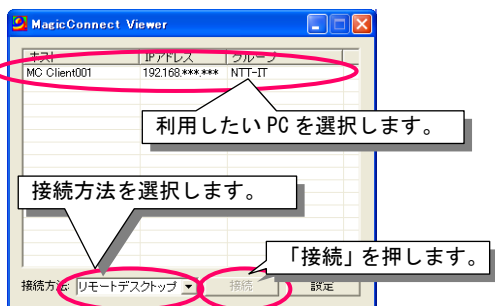
(注2)入力、PCに装備されているスクリーンキーボード(所在は、プログラム→アクセサリ→ユーザー補助)から行うことで、ハードウェアを含めたキーロガー対策が可能です。



MagicConnect の場合
MC server は、*****:80
MagicConnect2.0 の場合
MC server は、*****:443

マジックコネットのサーバへの接続が完了するとメイン画面が現れ、接続状態が「接続待ち」となっている操作される側のPCが表示されます。

利用したい PC と接続方法(リモートデスクトップ)を選択し、「接続」を押します。



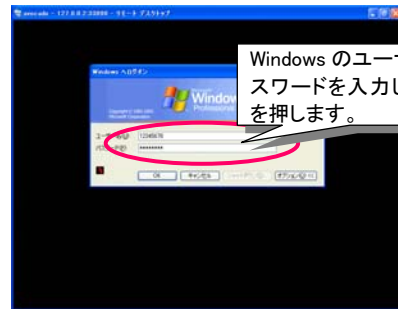
利用したい PC を選択します。

接続方法を選択します。

「接続」を押します。

② 利用したい PC ヘログオン

利用したいPCのWindowsのログオン画面が現れたら、ユーザー名、パスワードを入力して「OK」を押し、ログオンします。



Windowsのユーザー名とパスワードを入力して、「OK」を押しします。

利用したいPCのデスクトップ画面が現れ、利用可能となります。

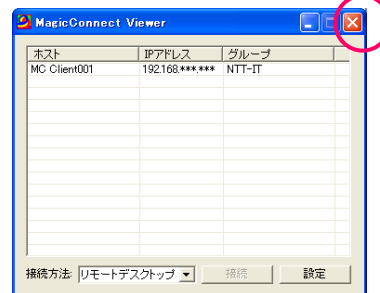


③ 利用終了

カーソルをデスクトップ画面の上端に移動して台形の上部バーを表示し、「×」を押してウィンドウを閉じます。



次に、メイン画面の右上の「×」を押し、マジックコネットのUSBキーを取り外します。



USBキーは、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」から、USBキー(USB大容量記憶装置デバイス)を選択した後、取り外してください。

- ◆ 初期設定を済ませた後は、ウイルス感染や誤ってファイルを削除してしまうことを防ぐために、USBキーは書き込み禁止状態で使用されることをおすすめします。書き込み禁止ツールは、ホームページ(<http://www.magicconnect.net/>)のサポートに掲載してあります。
- ◆ 操作される側のPCの電源設定([コントロールパネル]-[電源オプション])は、「システムスタンバイ:なし」「システムの休止状態:なし」になっていることを確認してください。MagicConnect Clientの「接続待ち」の間に、「スタンバイ」や「休止状態」になりますと、マジックコネット接続ができなくなります。
- ◆ インターネットから操作される側のPCの電源をONするマジックコネット専用WOLコントローラは、ホームページの標準製品に掲載してあります。これにより、会社や自宅の操作される側のPCの電源を常時オンしておく必要はなくなります。
- ◆ 本クイックセットアップで、マジックコネット接続が正常にできない場合は、USBキーに格納してあるMagicConnect取扱説明書、および、ホームページのサポートをご覧ください。